

台南市

Tainan City

臺南

TAINAN



五条港

旧市街散策

漫遊グルメ

漫遊文芸

漫遊ホテル

二の旧市街を繋ぐ歴史的な水路 五条港
清の時代に最初の貿易老街 北勢老街
全台湾に唯一 風神が祀られている廟 風神廟
台湾で最初の宣教師所 看西街教会
台南で四大牌坊の中に最も重要な石造り牌坊 接官亭
台南で現存に唯一 使用中の外城門「兌悅タテマツ」



「五条港旧市街散策」無料ガイド



★日光コース(昼間コース)
夏(4-10月)
毎週土曜、日曜16:00~18:00時
冬(11-3月)
毎週土曜、日曜15:00~17:00時

★星光コース(夜間コース)
毎週土曜、日曜 19:00~21:00時

台南市政府観光旅遊局
Tainan City Government Tourism Bureau
http://www.twtainan.net/
民生ンテイホール(本部)
06-6353226
光華ンテイホール(旅行サービス科)
06-3901175

お問い合わせ

トラベルセンター24時間
オンラインサービス



2021.12印刷発行

1

水仙宮 神農街1号



水仙宮は、主に水仙尊王大馬が祀られ、配祀として昇王、楚王(項羽)、伍大夫(伍子胥)、屈大夫(屈原)が祀られ、「一帝二王二大夫」とも言われて、当時、台湾における貿易の中心地でした。府城三郊(台南の三大商社組織)は、1741(清乾隆6年)から、水仙宮に統括本部の「三益堂」を設立したことにより、府城(台南)経済、宗教、政治における重要性が高まっています。
TEL:06-2203019

2

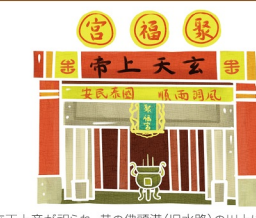
景福祠 普濟街44号



主に福德正神(土帝君)が祀られ、佛頭港(旧水路)の源頭にある廟です。清の末期、府城(台南)出身の進士許南英氏が書いた詩には、「佛頭港にドラゴンボードが騒ぎ、源頭まで人が溢れるほどの賑わいの盛況ぶりと比べると、昔のような賑わいをも二度と取り戻せないです。
TEL:06-2292933

3

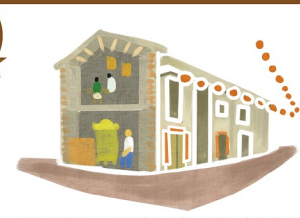
聚福宮 民族路三段51号



主に玄天上帝が祀られ、昔の佛頭港(旧水路)の川上1号位置し、福建省泉州晋江市前埔村の蔡氏一族が建てたお寺です。府城(台南)は、「蔡氏と蔡氏が喧嘩すると、祖先の位牌までやられてしまう」と言われるほど、清の嘉慶帝廟、晋江市前埔村と晋江市大埔村に出身の同蔡氏一族の間、佛頭港で激しい戦いがあったことを表しています。TEL:06-2230916

4

神農街



旧名は北勢通りで、東西方向に走り、現在的水仙宮から、海安路、康樂街に経由し、紫王廟前まで、清の時代に五条港を中心とした重要道路でした。神農街は、清の康熙帝末期に建てられ、全長約300メートル、幅4メートルの道路で、船舶が旧北勢港、佛頭港に停泊し、商売取引を行う場所でも、且つ五条港地域の重要水路と町でした。

8

接官亭石坊 民権路三段143巷8号



清の乾隆帝ごろ、巡道(地方行政官)郭善の建白により、台湾に赴任してきた新任者を迎えるため、南河港鎮源頭安樂橋の近くに接官亭が建てられました。1765(清乾隆30年)に知府蔣允焄により修繕され、1777(清乾隆42年)に蔣元樞は再度に改修するとともに、鐘樓と鼓樓を新設し、また、南河港沿いに石積み作りの接官亭牌坊も建てました。この牌坊は、入屋造り式の四柱三間の牌坊で、正面には「麗維永奠」、裏には「繁柱擎天」の文字が彫られています。文獻によると、南河港(旧水路)の接官亭から大井頭(井戸)の間に、最も古い「井亭夜市」があったと記録されていました

7

風神廟 民権路三段143巷8号



清の乾隆帝ごろ、巡道(地方行政官)郭善の建白により、台湾に赴任してきた新任者を迎えるため、南河港鎮源頭安樂橋の近くに接官亭が建てられました。1765(清乾隆30年)に知府蔣允焄により修繕され、1777(清乾隆42年)に蔣元樞は再度に改修するとともに、鐘樓と鼓樓を新設し、また、南河港沿いに石積み作りの接官亭牌坊も建てました。この牌坊は、入屋造り式の四柱三間の牌坊で、正面には「麗維永奠」、裏には「繁柱擎天」の文字が彫られています。文獻によると、南河港(旧水路)の接官亭から大井頭(井戸)の間に、最も古い「井亭夜市」があったと記録されていました

6

西羅殿 和平街90号



ここは、元々鎮源頭大西門城門の跡でした。清の乾隆帝ごろ、台湾府城(台南)の城壁が改築され、大西門(城門)も宮後通りに移されたため、郭氏一族が出資し、元の廟を建て直し、西羅殿と改称しました。また、郭氏一族は、南河港郭氏が港湾労働者の風習である成人式を取り入れ、西羅殿の周辺まで広がったため、その後、台湾では、「十六才成人式祝い」を行うようになりました。
TEL:06-2285354

5

金華府 神農街71号



主に文衡聖神(関羽)、李王爺、馬王爺、黃土爺が祀られています。清の同治年間、光緒帝頃、及び大正年間にも修復工事が行われたため、府城(台南)の旧市街にわずかに残された長屋式の廟で、レトロな雰囲気も言われています。
TEL:06-2288374

9

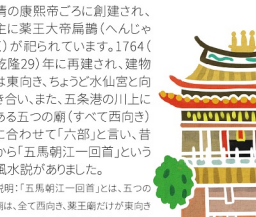
海安宮 金華路四段巷31号



1736(清乾隆元)年、郊商(昔、台南の商業組合)は中国福建省福州島より、天上聖母(媽祖様)の霊を台湾に迎えてきて、鎮源頭にお寺を創設しました。お寺は西向き、五条港の中心に位置したため、「鎮港媽」(港を鎮守する媽祖様)と呼ばれて、いつも参拝が盛んになっています。しかし、戦災で全て焼失したため、戦後後に再建されました。
TEL:06-2209605

10

薬王廟 金華路四段86号



清の康熙帝ごろに創建され、主に業王大帝扁鹊(へんじやく)が祀られています。1764(乾隆29年)に再建され、建物は東向き、ちょうど水仙宮と向き合いました。五条港の川上にある五つの廟(すべて西向き)に合わせて「六部」と言い、昔から「五馬朝江一回首」という風水説がありました。説明:「五馬朝江一回首とは、五つの廟は、東向き、業王廟だけが東向きなので、五本の水路(西)へ勢が流れていて、業王廟(東向き)で振り返ることにより、運勢が勢いに登臨し、その非水(潮)に流さないことを祈願します。
TEL:06-2267763

11

兌悅門 文賢路と信義街の交差点



清の道光帝ごろに創建され、台湾府城(台南)西側の城門で、現存に唯一の外城門です。城門は、西側に位置し、八卦の「兌方」に所属するため、「兌悦(ダエツ)」と名付けました。城門の土台は、サンゴ礁で建てられ、現存に唯一使用中の外城門で、台南市の発展をずっと見守ってきた城門です。

14

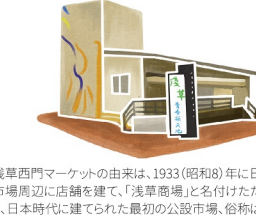
看西街教会 和平街33号



看西街は、五条港の南北方向に走っている重要道路で、町屋は、西側の湖に向いているため、「看西(西を見る)と名付けられました。1865(清同治4年)、台湾は開港され、長老教会のジェームズ・マックスウェル医師(中国語名:馬雅各)は、真っ先に台湾府城(台南)看西街でキリスト教の宣教を行い、台湾に西洋文明を導入してきました。その後、看西街で教会を建て、「看西街教会」と名付けました。その後、教会は和平通りに移されました。
TEL:06-2225808

13

西門浅草青春新天地 国华街二段26号



浅草西門マーケットの由来は、1933(昭和8年)に日本人が西門市場周辺に店舗を建て、「浅草商場」と名付けられました。つまり、日本時代に建てられた最初の公設市場、俗に「大菜市」(大きい市場)でした。廟台の所有者数が多いため、台南市政府は、各業者の意見を統合した結果、隣接している広場に「浅草青春新天地」を新しく建設し、若者をターゲットとした商品、服、工芸品、バック類などを販売しています。

12

老古石街(信義街)



「老古石」とは、サンゴ礁のことです。当時、道路と城門の土台は、全てサンゴ礁で作られたため、「老古石通り」と名付けました。この道路は、昔から清の道光帝ごろまで、ずーと新港堤(旧水路)沿いの重要道路で、安平港埠頭までに行けます。昔から、各洋行(商社)は五条港貿易での出入りが、ほとんどこの道路を利用するため、常に安平港の港湾労働者の衝突事件がありました。老古石通りと兌悅門は、弓と矢に似た地形で、安平港に向けて発射しているように見えるため、よく事件が引き起こされるとも言われています。

おすすめの観光スポット 五条港周辺

天德行(印刷屋)F10	06-2285548
金徳春茶屋D08	06-2284682
王泉盈紙莊(呉銭専門店)C08	06-2276839
金泉成雜穀屋C08	06-2222093
峰茂茶屋H07	06-2224657
永興木工彫刻屋F05	06-2238407
五条港行號(創作工房)D04	06-2203566
慢慢鳩(食堂)D04	06-2215795
永川工藝社(伝統神輿制作)D04	06-2224996
西仏国(仏像彫刻)D04	06-2286486
栄発錫屋C03	06-2205653

清海旅社(民宿)A09	06-2221480
台興大旅社(民宿)E09	06-2220176
名世(フェイマス)ホテルF10	06-2266111
楽都大旅社(民宿)F10	06-2226119
金鳳城大旅社(民宿)B07	06-2263145
金屋大旅社(民宿)B07	06-2222606
來七桃(ライチー)ホテル(民宿)C08	06-2221766
首学(ファースト)ホテルG03	06-2238999
榮美(クローリーファイブ)ホテルA04	06-2200366
イージーイン(ホステル)民宿)B06	06-7035333
青舎(Ching She)ホテルF04	06-2233693
富得來(フォータイム)ホテルG03	06-2216846
康橋(カインドス)ホテルG01	06-2245566
河樂文旅G02	06-2290001
富信ホテルA07	06-2229801
暖時逸旅ホテルB08	06-2222177
台南FXホテルF05	06-5116977
品記ホテルG03	06-2222078
連輝23ホテルG03	06-2222723
道達ホテルG03	06-2228896
星鑽國際ビジネスホテルG03	06-2232188
遠悦飯店カ楽館F08	0985167039
泊樂行旅ホテルG09	06-2236818
澄居行旅F09	0965303821

★宿泊施設及び飲食店等の情報は、各事業者の実際の営業状況または告知に基づきます

金安宮 信義街108巷61号

金安宮は、兌悅門の東北に、及び中通りの西北に位置し、主に天上聖母(媽祖)が祀られています。清の乾隆帝ごろ、いつも参拝が盛んになっているため、地方の主な信仰になり、地元の方と埠頭の労働者も、媽祖の助けを感謝するため、力を合わせて募金し、廟の建設に力を注ぎました。また、天上聖母の霊は、福建省金川と金門島から迎えてきたことにより、「金安宮」と名付けられました。
TEL:06-2255817

菱洲宮 成功路502号

元々、「天、雷、朱、許」四名の千歲爺(神様)が祀られ、通称「天王爺廟」でしたが、その後、さらに「北極玄天上帝」が加えられ、しかも主祭神として祀られたため、「菱洲宮」に改称しました。(この地域には、徳慶堂と分岐した水路が延々と西へ流れていて、その間に形成された砂州は、菱の葉に似た地形なので、「菱洲」と名付けられました。
TEL:06-2214993

媽祖樓天后宮 忠孝街118号

媽祖樓天后宮は、現在の成功路と海安路の西南に位置します。ここは、清の時代に台湾軍工道工場(軍需工場)の水路出口にあたり、そので、「哨船港」と名付けられました。1755(清乾隆20年)、地元の方が募金し、廟を建てた後に、媽祖の霊は、屋根裏の部屋に祀られているので、「媽祖樓」と名付けられました。2013年の台湾映画「祝宴!シェフ」(總帥師)のロケ地です。
TEL:06-2206946

普濟殿 普濟街79号

明永暦年ごろに建てられ、主に池府王爺が祀られ、元々「普濟廟」という名称でしたが、明の寧靖王朱術桂が「普濟殿」と名付けました。本殿は、府城(台南)の西北に位置し、西城に最も早く形成された砂州でした。昔から交通の便がよく、広範囲に「八卦」のような交通網を持ち、また、本殿はちょうど八卦の真ん中、「蜘蛛の巣」中心部に位置しているため、その重要性が高まっています。台湾府城(台南)の地形も、鳳が北へ飛び出すような形になっています。普濟殿は、ちょうど鳳(鳳凰)の頭に位置しています。
TEL:06-2268774

南沙宮 和平街55号

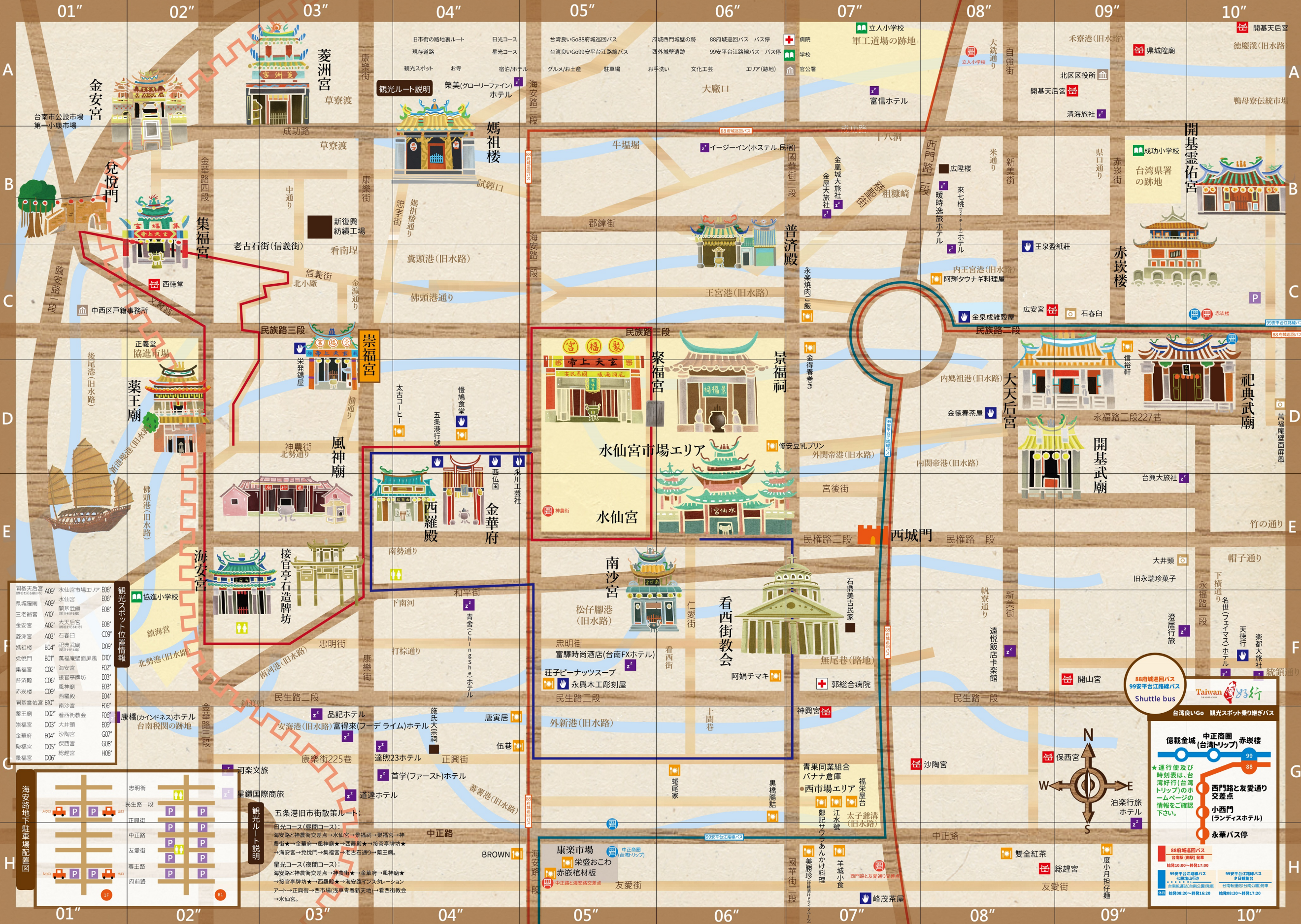
南沙宮は、和平街と仁愛街の交差点に位置し、看西街教会と隣接しています。看西街と和平街は、五条港時代の南河港(旧水路)にあたり、船舶がよこる前に停泊したため、別称は「港頭廟」といいます。昔は、盧氏一族の仏壇に冥府の主包青天が祀られ、「包公廟」とも言います。鎮座地の包公公像は、すでに数百年の歴史を持つと言われていました。
TEL:06-2212225

集福宮 信義街83号

「兌悅門」に隣接し、主に玄天上帝が祀られ、パワフルで、いつも参拝が盛んになっています。1822(清道光2年)に「集福宮」と改名し、清の末期に府城(台南)の民防組織「七合境」の本堂になり、現在、老古石通りの民防組織に入り、普濟殿、金安宮、媽祖樓に合わせて、「四聯廟」といいます。
TEL:06-2234889

崇福宮 民族路三段119号

崇福宮は、佛頭港(旧水路)沿いに位置し、主に玄天上帝が祀られています。また、全台湾に唯一に女性の安産守り、子供の成長を見守っている「註胎夫人媽」、及び馬府王爺などが祀られているお寺です。1728年、蔡料崇氏が岬港より玄天上帝をお迎え、蔡氏一族の募金し、崇福宮という廟を建てました。1945(大正14年)に永樂路が開通され、廟は北向きに変えましたが、現在の建物は、1984(中華民国73年)に改築されたものです。
TEL:06-2213323



観光スポット位置情報

開基天后宮	A09'	水仙宮市場エリア	E06'
興隆廟	A09'	水仙宮	E06'
三老爺宮	A10'	開基武廟	E08'
金安宮	A02'	大天后宮	E08'
菱洲宮	A03'	石春白	C09'
媽祖樓	B04'	祀典武廟	D09'
兌悅門	B01'	萬福庵壁面屏風	D10'
集福宮	C02'	海安宮	F02'
普濟殿	C06'	接官亭牌坊	E03'
赤崁樓	C09'	風神廟	E03'
開基靈佑宮	B10'	西羅殿	E04'
藥王廟	D02'	看西街教会	F06'
崇福宮	D03'	大井頭	E09'
金華府	E04'	沙陶宮	G07'
聚福宮	D05'	保西宮	G08'
景福祠	D06'	慈經宮	H08'



観光ルート説明

五条港旧市街散策ルート:
 日光コース(昼間コース):
 海安路と神農街交差点→水仙宮→景福祠→聚福宮→神農街→金華府→風神廟→西羅殿→接官亭牌坊→海安宮→兌悅門→集福宮→老古石通り→藥王廟。

星光コース(夜間コース):
 海安路と神農街交差点→神農街→金華府→風神廟→接官亭牌坊→西羅殿→海安路インスタイルションアート→正興街→西市場(浅草青春新天地)→看西街教会→水仙宮。

88府城巡回バス
 99安平台江路線バス

Shuttle bus

Taiwan 台湾好行

★運行便及び時刻表は、台湾好行(台湾トリップ)のホームページの情報をご確認ください。

億載金城 中正商園 赤崁樓

88府城巡回バス
 台南駅(南門驛)発車
 始発10:00~終発17:00

99安平台江路線バス
 七福山行車
 台南驛(台南公運)発車
 始発08:20~終発16:20

99安平台江路線バス
 夕日觀音台
 台南驛(台南公運)発車
 始発08:20~終発17:20